

大飯判決 冷静に受け止め



判決後、記者の質問に答える菅直人元首相＝福井市の福井地裁前で（河野光吉撮影）

菅元首相が傍聴

一〇一年の福島第一原発事故後、初めてとなる原発訴訟の判決を見届けるため、事故当時首相だった菅

直人衆院議員が福井地裁で傍聴。大飯原発3、4号機の運転差し止めを命じる判決について「福島事故を踏まえた素晴らしい判決。原発から二五〇キロ圏内の住人

の権利を認めた意義は大きい」と指摘。「判決に従えば、全ての原発は再稼働できない。政権をかえてでも脱原発政策を推進しなければならぬ」と話した。

福井地裁が二十一日、関西電力大飯原発3、4号機の運転差し止めを命じる判決を言い渡したのを受けて、関係者からは裁判所の判断を歓迎する声が上がると一方、冷静に受け止め、政府の対応も見極めたいとする声などもあった。＝〇面参照

理解を得られず遺憾

関西電力の談話 大飯3、4号機の運転差し止めの請求が認められ、当社のこれまでの主張が裁判所に「理解いただけなかったことは、誠に遺憾だ。当社としては、判決文の詳細を確認の上、速やかに控訴の手続きを行い、控訴審において引き続き大飯発電所3、4号機の安全性について主張したい。

あれこれと言わない

西川一誠知事の談話 行政の立場で（判決に）あれこれ言うことはない。原発については（エネルギー基本計画で）政府の判断は出ている。（再稼働に必要な地元同意については）安全審査の結果や政府の方針に基づいて、県民の安全を第一に考えて判断していく。

政府判断踏まえ注視

中塚寛おおい町長の談話 原発の新規制基準が施行される前の暫定的な安全基準で再稼働したことに対する司法判断だ。粛々と受け止めるを得ない。新規制基準に基づく審査の最中であり、今回の判決のほか、政府の判断も踏まえ、行方を注視したい。

規制委判断前で疑問

全国原子力発電所所在市町村協議会長を務める河瀬一治敦賀市長の談話 原子力規制委員会の判断を待たず、司法が結論を出すことには疑問を感じる。国と電力事業者は、今後住民の安心安全をしっかりと確保していくってほしい。

科学的な視点が必要

釜江克宏京都大原子炉実験所安全原子力システム研究センター長の話 揺れに関する科学的視点が必要ではないか。基準地震動を地震波の周期の中で超えないかといえれば可能性は否定できないが、（観測史上最大加速度を記録した）岩手宮内陸地震と同じ規模の地震が起ころうとしても、固い岩盤の上にある大飯では四〇〇〇gを超える揺れは信じられないし、福島は津波が影響した。

福島事故の影響反映

二〇〇七年以降、四万所の原発で基準地震動を超えたのは、当時の基準が甘かったことや地下構造に問題があるなど原因は分かっている。原子力規制委員会ではそれらを踏まえ、より安全に科学的に審査中だ。判決はそれを待ってからでよかつたのではないか。

格権に基づき、国民を放射性物質の危険から守るという観点から、司法の果たすべき役割を見据えた画期的判決である。政府は、従来のエネルギー・原子力政策を改め、速やかに原子力発電所を廃止にすべきだ。福島事故の影響反映

原発廃止するべきだ

村越進日本弁護士連合会長声明 判決は福島第一原発事故の深い反省の下に、国民の生存を基礎とする人

格権に基づき、国民を放射性物質の危険から守るという観点から、司法の果たすべき役割を見据えた画期的判決である。政府は、従来のエネルギー・原子力政策を改め、速やかに原子力発電所を廃止にすべきだ。福島事故の影響反映

